

ドコモ環境センサーネットワークと今後の展開について Overview and future strategy of docomo Environmental Sensor Network(ESN)

坪谷 寿一^{1*}; 東 邦昭²; 古本 淳一²

TSUBOYA, Hisakazu^{1*}; HIGASHI, Kuniaki²; FURUMOTO, Jun-ichi²

¹NTT ドコモ ライフサポートビジネス推進部, ² 京都大学生存圏研究所

¹Division of life support business promotion, NTT DOCOMO Corporation, ²Research Institute for Sustainable Humanosphere, Kyoto University

NTTドコモでは2008年より全国の無線基地局を活用して気象情報・環境情報の観測を行い、新しい情報コンテンツとして提供を行ってきた。本情報は応用気象分野として、防災、農業、ヘルスケアと多岐にわたる活用が可能である。今後は自社の情報蓄積クラウドと観測資産を、情報を活用する自治体、企業、さらには個人に対しても提供し、より稠密な観測ネットワークを構築していく予定である。